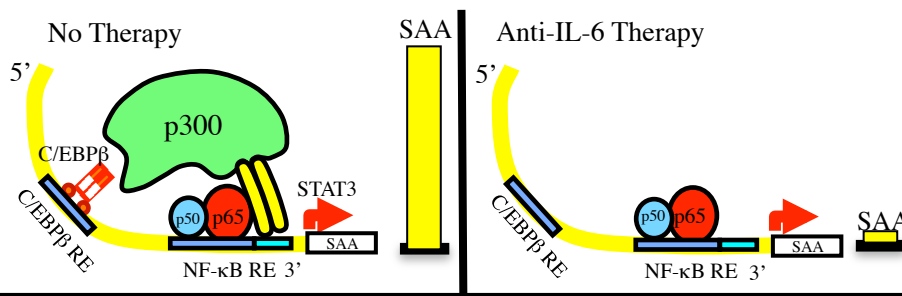


抗IL-6受容体抗体（トシリズマブ）はSAA産生抑制し、AAアミロイドーシス治療に有効性発揮することが期待される

研究分担者:大阪大学先端科学イノベーションセンター 吉崎和幸

理論・動機

RAにおけるSAA産生プロモーター機序とIL-6阻害によるSAA産生抑制



IL-6阻害治療（トシリズマブ）による若年性突発性関節炎を伴うAAアミロイドーシスの改善

	Before therapy	After therapy		
		1M	2M	6M
Serum amyloid A (SAA)	242.7 μ g/ml	3.15 μ g/ml		
CRP	10~15mg/ml	0.03mg/dl		
Urinary protein	700mg/day		0 mg/day	
Cer	66 ml/min			124ml/min
Diarrhea, Nausea, Abdominal pain	frequently	disappeared		

臨床研究

2007年 AAアミロイドーシス臨床研究会発足
 ↓
 2008年 治療研究の開始
 ↓
 2009年 治療研究の継続
 ↓
 2010年 治療研究の終了
 ↓
 2011年 評価検討
 ↓
 2012年 成果発表

解説

1. IL-6はSAA産生に中心的に作用する。
2. RAにおいてトシリズマブはSAA,CRPを正常化させる。
3. 一部の症例で腎アミロイドーシスがトシリズマブにより改善した。
4. AAアミロイドーシスは従来難治性の疾患。
5. トシリズマブでAAアミロイドーシス治療が期待。
6. 臨床研究にて改善を証明。